

Morgan Stanley

INSTITUTE FOR SUSTAINABLE INVESTING



サステナブル・リアリティ

サステナブルファンドは2025年上期に強いリターンを達成; 資金流入額はプラスだが前年を下回る

2025年上期の重要なポイント



1 サステナブルファンドの運用資産残高は3.92兆ドルに

サステナブルファンドの運用資産残高(AUM)は、2025年6月末に3.92兆ドルと過去最高に達し、2024年12月比で11.5%増加したとモーニングスターのデータが示している。サステナブルファンドは現在、総AUMの6.7%を占めており、2024年末の6.6%をわずかに上回るが、2023年6月の7.2%の高値からは低下している。これは、従来型ファンドにより純流入があったためである。



2 サステナブルファンドは3%ポイント以上のアウトパフォームを達成

25年上期のAUMの成長の大部分はパフォーマンスによるもので、サステナブルファンドは25年上期に12.5%の中央値リターンを生み出し、従来型ファンドの9.2%を上回った。24年下期のパターンを逆転し、25年上期のアウトパフォームの主な要因は、サステナブルファンドがグローバルおよび欧州の投資エリアにより多くのエクスポージャーを持っていたことであり、特に債券で北米とアジア太平洋よりも強いリターンを見せた。サステナブルリアリティ (Sustainable Reality) シリーズが米ドルベースでリターンを示しているため、期間中の通貨の変動にも影響を受けた可能性がある。



3 資金流入額はプラスだが前年を下回る

上期のサステナブルファンドへの流入は160億ドルで、第1四半期の小さな流出が第2四半期で相殺された。しかし、年初来で見ると、2025年の資金流入額は前年を下回っている。2022年と2023年は年間でそれぞれ1,000億ドルを超え、2024年は80.6億ドルに修正された。欧州のファンドが流入を牽引し、ファンドの登録地(籍)と投資エリアの両方で、北米では小さな流出があった。従来型ファンドへの資金流入額は依然として相対的に多く、25年上期の前年末AUM比で+2.1%に対し、サステナブルファンドは+0.5%である。

「サステナブル・リアリティ」 (Sustainable Reality) シリーズについて

サステナブルファンドのAUM、資金流入、パフォーマンスの追跡

サステナブル・リアリティは、モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による長期シリーズである。モーニングスターのデータを使用して、99,000のグローバルファンドの中でサステナブルファンドと従来型ファンドのAUM、資金流入、パフォーマンスを追跡している。

「サステナブルファンド」(Sustainable Fund)と「従来型ファンド」(Traditional Fund)はモーニングスターの定義を使用している。

弊社は中央値リターンを参照している。これは、投資ファンドに共通する非常に広範な潜在的結果の範囲を反映するためであり、また、個々の投資家がリターンを達成するファンドを選択する可能性を反映するためでもある。リターンはUSDベースで表示されている。

詳細な方法論については、20ページを参照。

お問い合わせ

本レポートについてご不明な点がございましたら、サステナブル投資研究所 (globalsustainability@morganstanley.com) までお問い合わせください。

本レポート等のお役たち情報をメールで受け取りたい場合、こちらからサステナブル投資研究所のニュースレターを申し込みください。



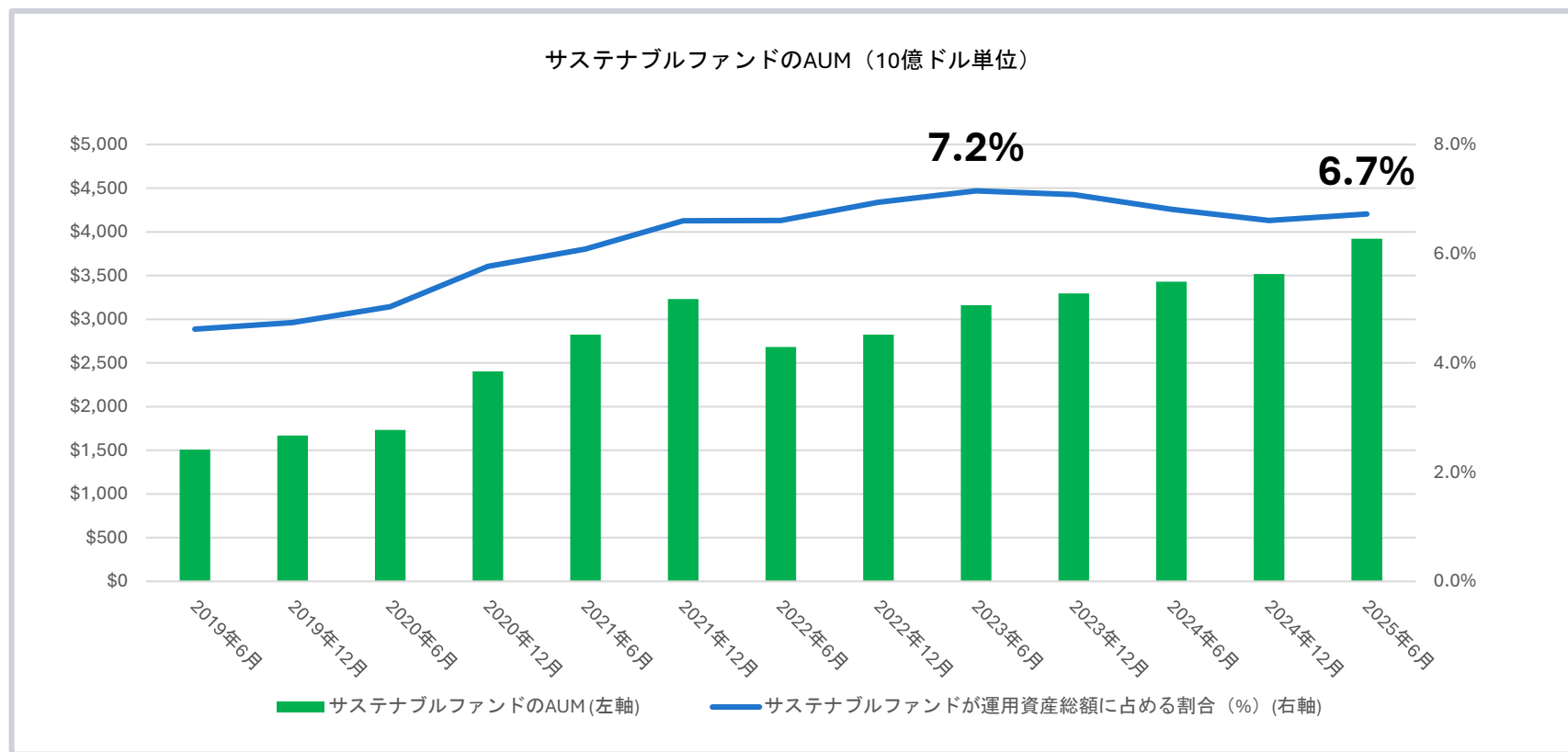
目次

1	AUM	5
2	資金流出入	6
3	パフォーマンス	10
4	ファンドの命名	17
5	制限スクリーニング	18
6	方法論と開示	20



サステナブルファンドのAUMは3.92兆ドルに上昇

2025年6月末に、サステナブルファンドのAUMは3.92兆ドルと過去最高になり、2024年12月比で11.5%、前年同期比で14.3%増加した。主にリターンによるものである。これは総AUMの6.7%を占めており、2023年6月末の7.2%からは低下しているが、2024年12月の水準をわずかに上回っている。過去2年間の全体的なAUMの割合の減少は、主に従来型ファンドのユニバースへの強い資金流入を反映している。



出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。注：すべてのデータポイントは現在の期間分類に基づいて再設定されるため、以前の期間番号にわずかな変更が生じる可能性があります。

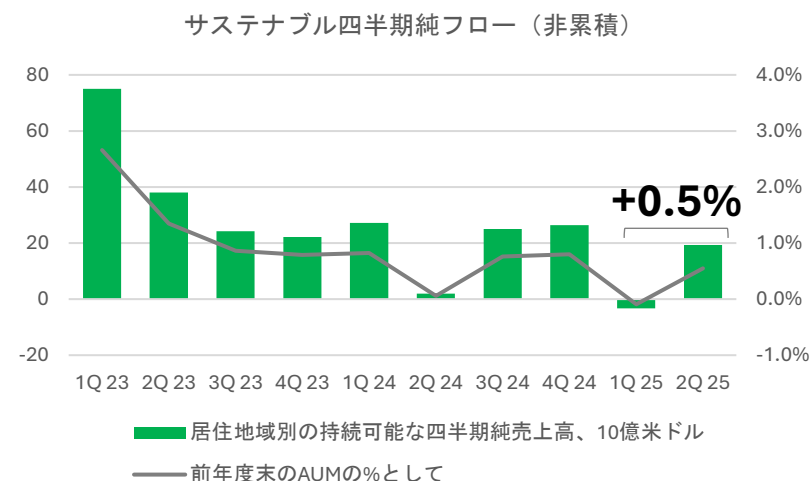
サステナブルファンドの資金流入は25年上期にプラスだったが、前年を下回っている

全体として、サステナブルファンドは25年上期に160億ドルの流入を見せ、前年末AUM比で+0.5%である。第1四半期は32億ドルの小さな流出があり、第2四半期の193億ドルの流入で相殺された。

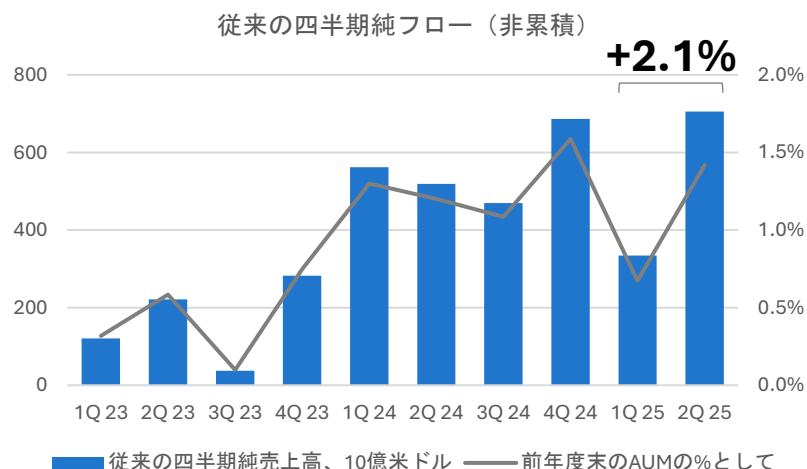
従来型ファンドへの資金流入はサステナブルファンドのそれを上回り続けており、25年上期の流入は前年末AUM比で+2.1%で、2024年を通じて見られたペースを維持している。

サステナブルファンドへの流入は、最近の年に比べて著しく低く、2022年と2023年の年間流入はそれぞれ1,000億ドルを超え、2024年はいくつかの上方修正後*)で80.6億ドルである。

サステナブルフローはプラスだが前年を下回る



従来型ファンドは2024年の強いトレンドを維持



出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。*サステナブル・リアリティの前の版では、2025年2月4日時点のモーニングスターデータに基づき、2024年の年間フローを547億ドルとしていた。

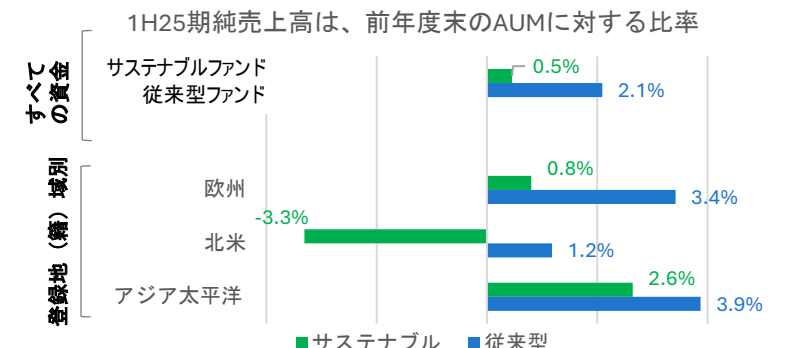
ファンドの登録地(籍)別では、欧州のファンドが1-3月の弱さを牽引

絶対的な基準で、欧州籍のサステナブルファンドは引き続き支配的であり、25年上期(1-6月)に247億ドルの流入を見せ、アジアの27億ドルの流入、北米の113億ドルの流出と比較される。しかし、24年下期(7-12月)と同様に、25年1-3月のサステナブルファンドへの資金流入の弱さは、欧州籍のファンドによって牽引され、流入はわずか9億ドルで、過去2年間の四半期平均約200億ドルを大きく下回っている。

北米籍のサステナブルファンドは、2022年4Qから11四半期連続で流出を報告している。

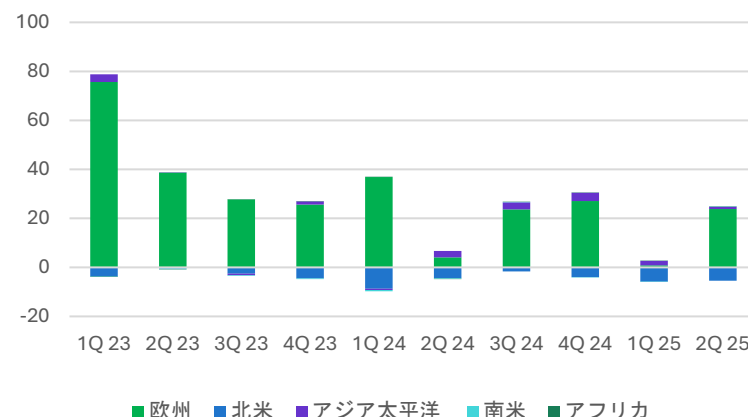
前年末AUMに対して、アジアは25年上期に+3.9%で最も強い流入を見せ、欧州の+0.8%、北米の-3.3%を上回った。

AUMに対して、アジアの流入が最も強かった



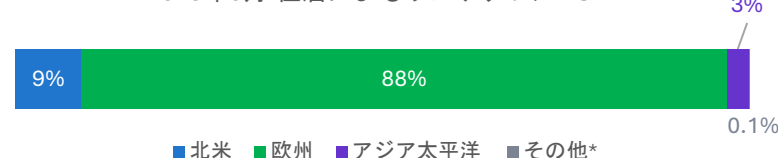
欧州籍の資金流入額が大半を占めた

登録地(籍)域別サステナブルファンド四半期別純資金流入、10億米ドル



サステナブルファンドのAUMの88%は欧州籍

2025年6月 住居によるサステナブルAUM



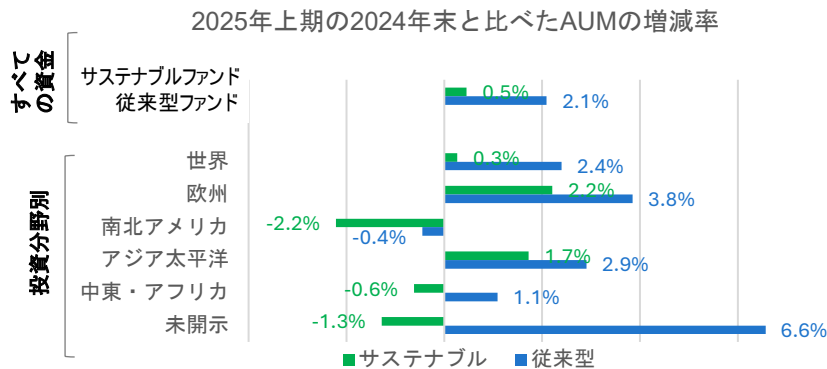
出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。*その他には南北米とアフリカが含まれ、それぞれAUMの0.09%/0.01%を占めている。ファンドはある地域に籍していても、グローバルまたは他の地域に投資することができることに注意。投資地域は後者を指す。

投資地域別で、欧州が最も堅調に資金流入

欧州に投資するサステナブルファンドは、2025年上期に、AUM(248億ドル)とその伸び率(前年同期のAUMの2.2%増)の双方において、最も堅調な資金流入となりました。グローバルおよびアジア太平洋のサステナブルファンドはどちらも流入が見られ、その額はそれぞれ40億ドルと23億ドルでした。

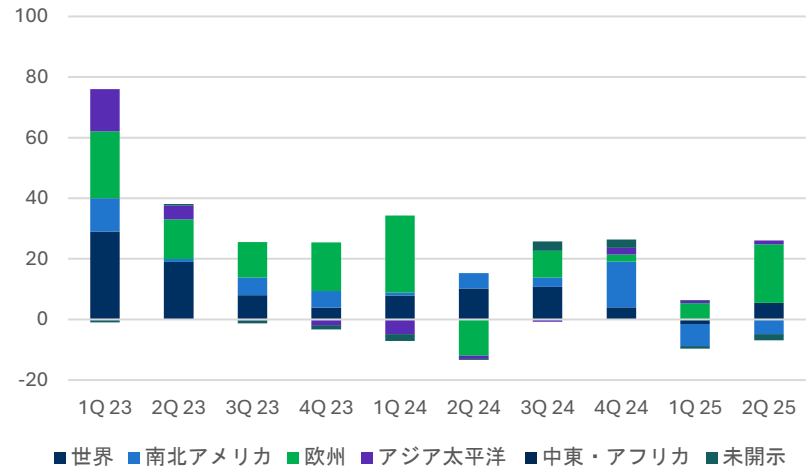
北米・南米のサステナブルファンドは、2020年1-3月以来初めて資金流出が発生し、前年同期の122億ドルの流出または率にして-2.2%となりました。北米・南米の従来型のファンドも、小規模な資金流出が発生しました。

南北米では最も大きい資金流出が見られた



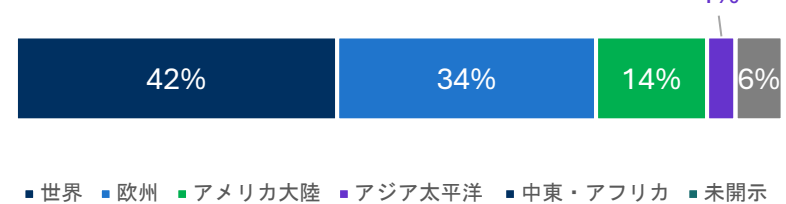
3月－6月にヨーロッパへ資金流入

投資地域別のサステナブルファンド四半期毎の資金流入額、10億米ドル



サステナブルファンドの75%超がグローバルまたは欧州に投資

2025年6月、投資地域別のサステナブル運用資産

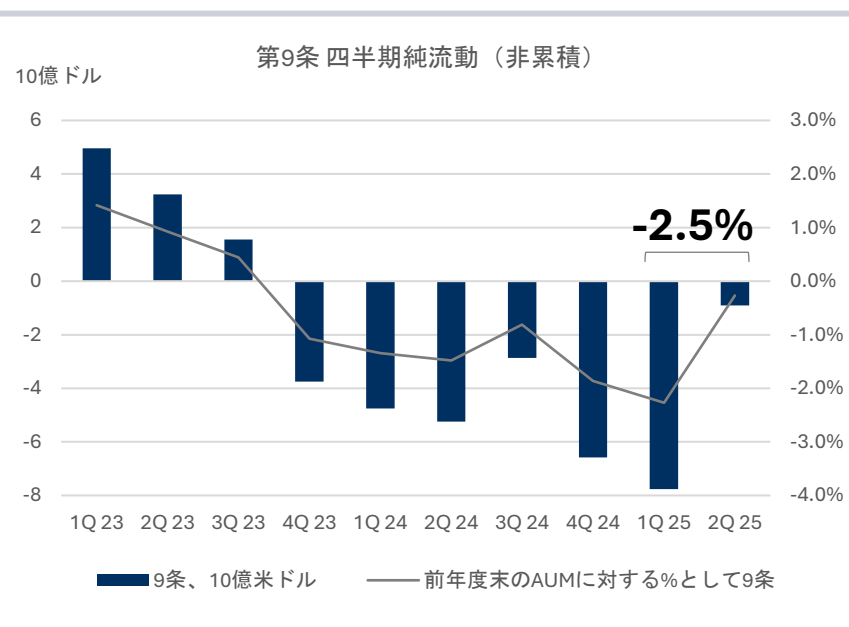
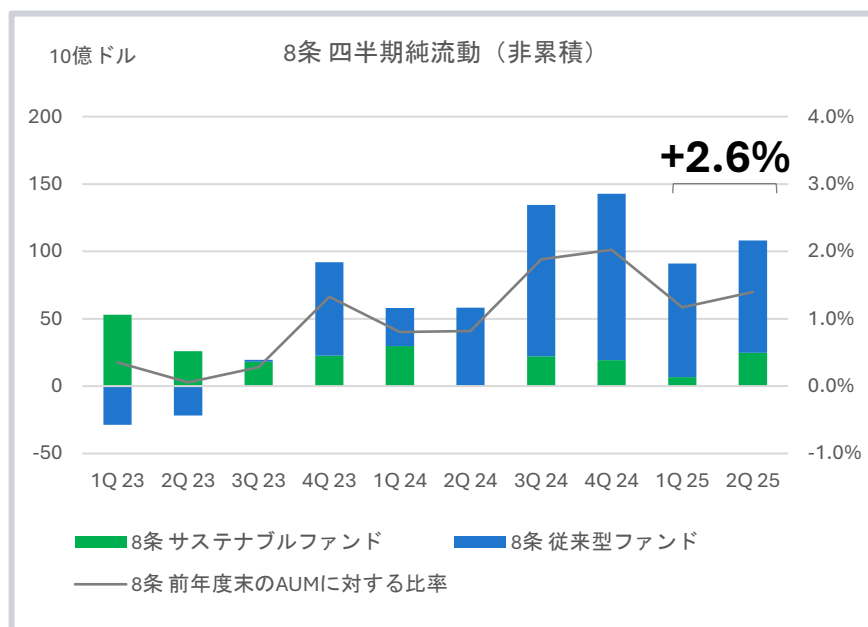


出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。中東・アフリカはAUMの0.003%を占めている。。ファンドはある地域に籍していても、グローバルまたは他の地域に投資することができることに注意。投資地域は後者を指す。

SFDR8条ファンドへは資金流入、9条ファンドからは流出

25年上期に、SFDR8条ファンド(環境性・社会性を促進するファンド)は2,034億ドルの流入を見せ、前年末AUM比で+2.6%だった。これは主にモーニングスターによって分類された8条ファンドによるもので、サステナブルと分類された8条ファンドは総額315億ドルを占め、前年末AUM比で+1.5%であった。

9条ファンド(サステナブルな投資を主な目的とするファンド)は25年上期に87億ドルの流出を見せ、前年末AUM比で-2.5%であった。これは9条ファンドにとって7四半期連続の流出を示しているが、25年4-6月には流出額が減少した。



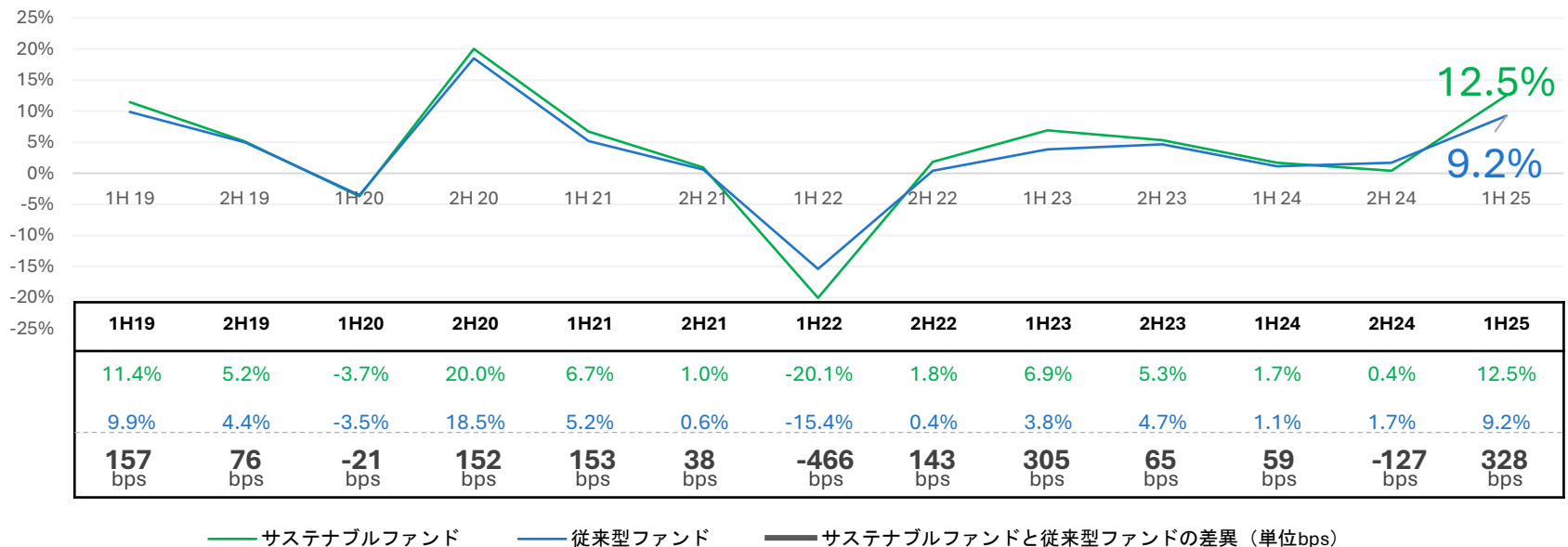
出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。

サステナブルファンドの中央値リターン+12.5%は従来型ファンドを大きくアウトパフォーマンス

2025年上期は、集計を開始した2019年以来、サステナブルファンドにとって最も強いアウトパフォーマンスの期間であり、中央値リターンは+12.5%で、従来型ファンドの+9.2%を上回った。2024年下期と同様に、これは主に地理的な違いによるものだった。サステナブルファンドはグローバルおよび欧州の投資地域に過剰にインデックスされており、これらの地域は25年上期に最も強いリターンを見せ、2024年下期のダイナミクスを逆転させた。2024年下期では、これらの地域の弱いリターンがサステナブルファンドのアンダーパフォーマンスを引き起こした。しかし、サステナブルファンドはほとんどの地域内でも、すべての資産クラスにおいてもアウトパフォーマンスした。

2025年上期におけるサステナブルファンドの中央値リターンは従来型ファンドを大きくアウトパフォーマンス

リターンの中央値 - サステナブルファンドと従来型ファンドの比較

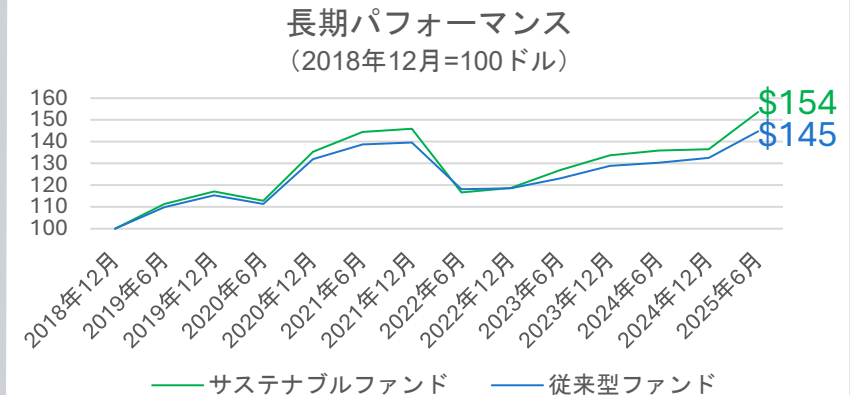


出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。

下方偏差と長期リターン

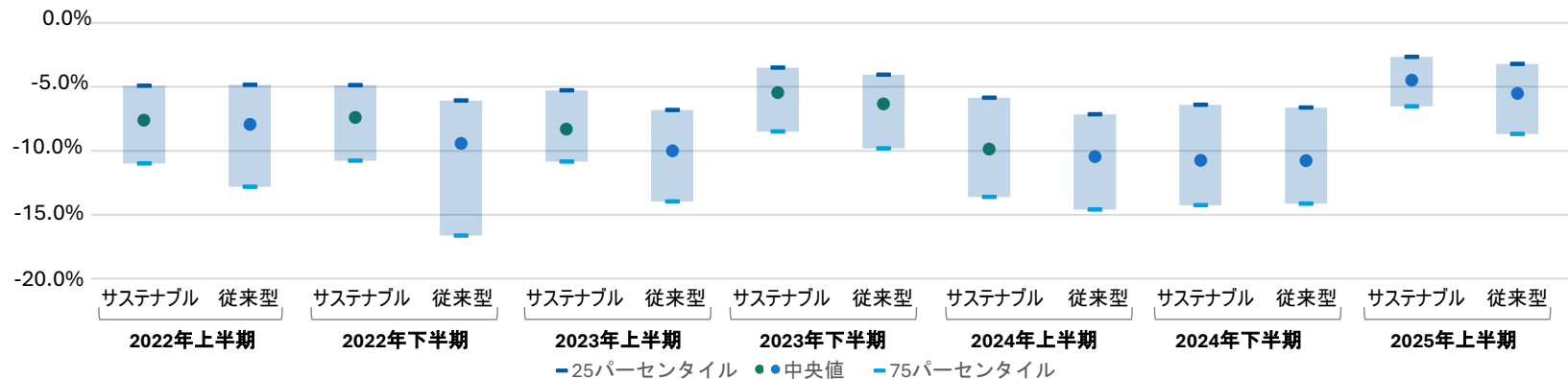
下方偏差は、期間中にファンドセットで負のリターンが発生する可能性の指標である。より低い数値は、選択したベンチマーク、ここではS&P 500に対する負のリターンの可能性が高いことを意味する。25年上期の下方偏差は、サステナブル株式ファンドで-4.5%、従来型株式ファンドで-5.5%であり、従来型ファンドは相対的な損失の可能性が高かったことを意味する。

2018年12月に100ドルを投資した場合、サステナブルファンドの中央値リターンを適用すると、現在では154ドルになる



下方偏差は選択したベンチマークに対する負のリターンの可能性を測定する

下方偏差、株式ファンド



出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではない。

サステナブルファンドのグローバルおよび欧州投資地域への偏りが25年上期の全体的なアウトパフォーマンスを牽引した

サステナブルファンドは、しばらくの間、グローバルおよび欧州投資地域に過剰にインデックスされている。2024年以前は、これは従来型ファンド*に対するパフォーマンスの主要な要因ではなかった。

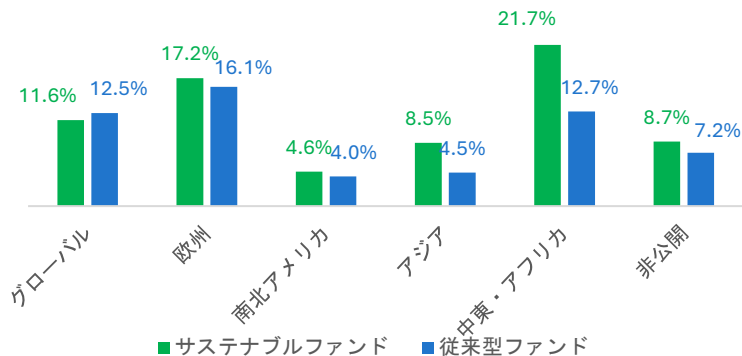
サステナブルファンドのほぼ半数がグローバルに投資しており、25年上期のリターン11.6%は従来型の12.5%に及ばなかった。欧州は全体の4分の1を占め、サステナブルファンドのリターン17.2%は従来型に対して115bpのアウトパフォーマンスを示した。

サステナブルファンドは北米・南米で65bp、アジア太平洋で403bpのアウトパフォーマンスを示したが、これらの地域の寄与は限定的だった。二桁のリターンを持つ地域へのより大きなエクスポージャーが、サステナブルファンド全体のアウトパフォーマンスの主要な要因であった。

これは24年下期のダイナミクスを逆転させ、グローバルおよび欧州ファンドの弱いリターンがサステナブルファンドが従来型に劣ることを意味した。サステナブル・リアリティシリーズが米ドルベースでのリターンを示しているため、通貨のボラティリティも影響を与えた可能性がある。

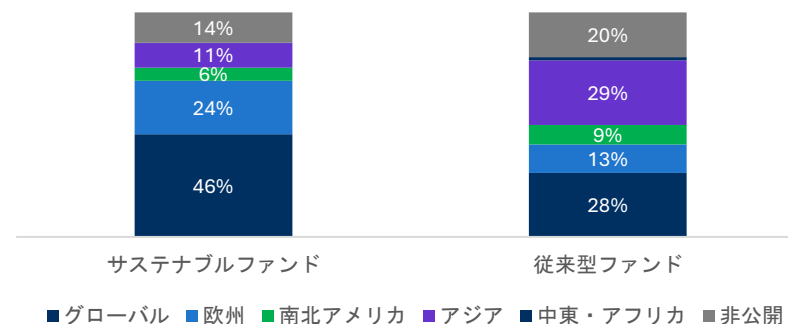
グローバルおよび欧州は最も強いリターンを示した

投資地域別のリターン中央値、2025年上半期



サステナブルファンドはグローバルおよび欧州に過剰にインデックスされている

投資地域別のファンド数の内訳、2025年上半期



出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。注：bpはbasis pointの略で、10bpは0.1%に相当する。*一般的に、北米大陸での強いリターンはアジア太平洋での弱いリターンによって相殺された。

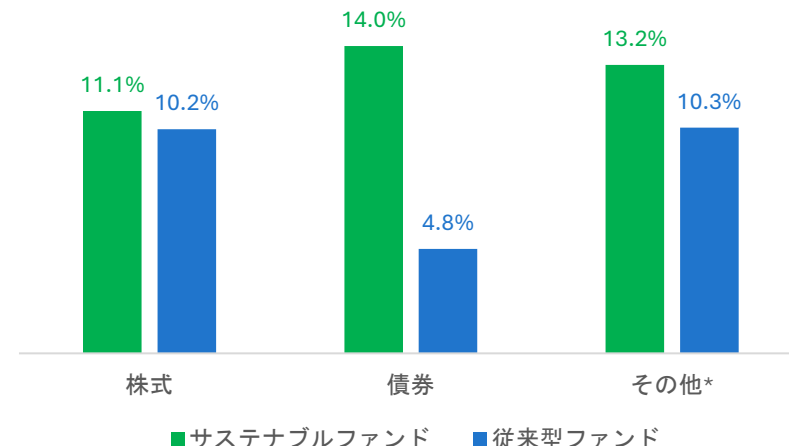
アセットクラス全体でサステナブルファンドのアウトパフォーマンスが続く

2025年上期において、サステナブルファンドはすべてのアセットクラスでアウトパフォームした。

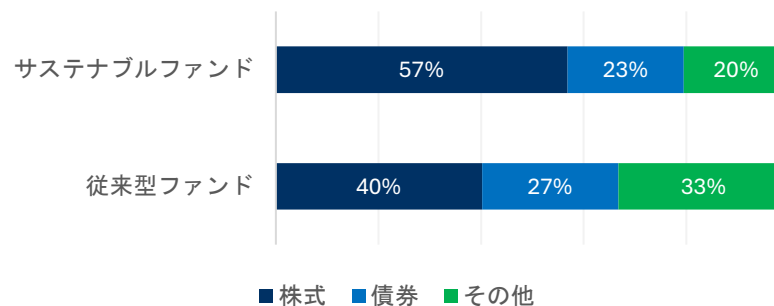
- 株式: サステナブルファンドは83bpのアウトパフォーマンスを示し、中央値のリターンは+11.1%で、従来型株式ファンドの+10.2%を上回った。
- 債券: サステナブルファンドは+14.0%と強いパフォーマンスを示し、従来型の+4.8%を900bp以上上回った。アウトパフォーマンスは特に短期および中期のデュレーションファンドで強く、平均BBBのクレジット投資判断*を持つ。より広範なファンドユニバースにおいて、サステナブルおよび従来型の債券ファンドは、北米大陸およびアジア太平洋に投資するものよりも、グローバルおよび欧州に投資するものの方がはるかに強いパフォーマンスを示し、通貨のボラティリティが米ドルベースでのリターンに影響を与えた可能性がある。
- その他のファンド(マルチアセット、不動産、コモディティ、オルタナティブ)については、サステナブルファンドの中央値リターンは+13.2%で、従来型ファンドの+10.3%を上回った。

サステナブルファンドは債券で相対的に高パフォーマンス

アセットクラス別のリターン中央値、2025年上半期



アセットクラス別ファンド数、2025年上期



出所: モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。*債券スタイル別のリターンについてはp. 16を参照。

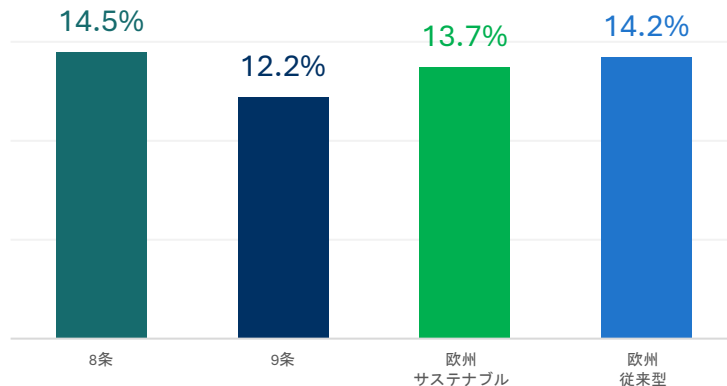
欧州に本拠を置くファンドのパフォーマンスを分析

欧州に本拠を置くサステナブルファンドは、25年上期に13.7%の中央値のリターンを示し、従来型ファンドの14.2%にわずかに劣った。8条ファンドは+14.5%の中央値のリターンを示し、9条の中央値のリターンは+12.2%であった。

欧州登録地ファンドのAUMの半分は8条(欧州AUM全体の50%)または9条(全体の2%)に分類され、残りは6条に分類される。

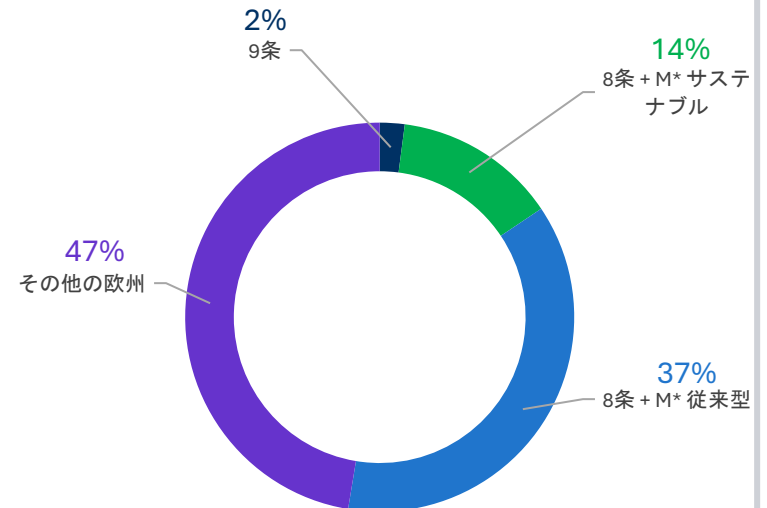
すべての9条AUMと8条AUMの27%はモーニングスターによって「サステナブル」と分類されており、欧州籍ファンドのAUMの19%がモーニングスターのサステナブル分類に該当することを示唆している。

2025年上半期のリターン中央値、SFDR分類別



EUのサステナブルファイナンス開示規則(SFDR)は、資産運用会社に対してサステナブル投資戦略に関する透明性を高めることを目的とした必須のESG開示要件を定めている。2023年1月1日に完全に施行されたSFDRの分類システムによれば、ファンドは6条(サステナビリティの範囲を持たないファンド)、8条(環境または社会的特性を促進するファンド)、または9条(サステナブル投資を主要な目的とするファンド)に分類される。

欧州登録地ファンドAUM, 2025年上半期



出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。

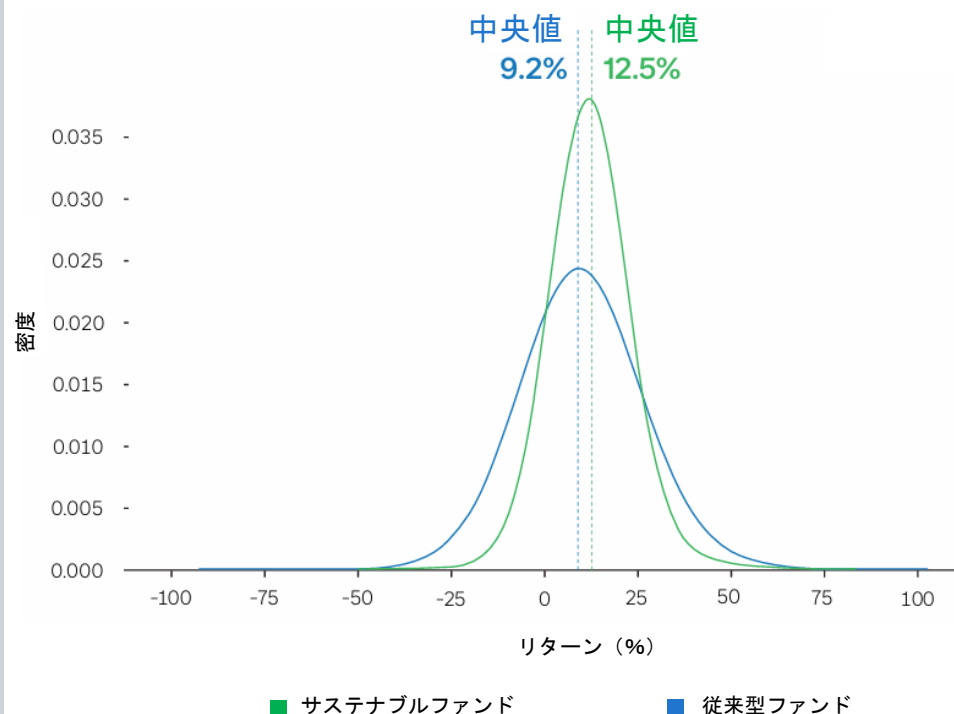
92%のサステナブルファンドが25年上期にプラスのリターンを示した

2025年上期において、サステナブルファンドのより大きな割合がプラスのリターンを示し、92%が従来型ファンドの85%を上回った。投資家はサステナブルユニバースでより良いパフォーマンスを示すファンドを選択する可能性が高かった。両方のカーブには長い尾があり、最高のリターンを示すファンドは+100%、最低のものはほぼ-100%であり、非常に広い範囲のファンドパフォーマンスの結果をもたらした。平均または単純平均のリターンを使用すると、これらの長い尾によって不均衡に影響を受け、ファンドの選択全体でそのリターンを達成する可能性を表さない。

「サステナブル・リアリティ」シリーズは、異なるファンドサイズを考慮した加重なしで中央値のファンドリターンを主要な指標として使用している。中央値は、ファンドリターンの全体の非正規分布を考慮した場合、より適切なリターン値である。中央値の値は、投資家がファンドを選択し、その特定のリターン値を達成する可能性をよりよく表している。

サステナブルおよび従来型ファンドのリターンの密度チャート

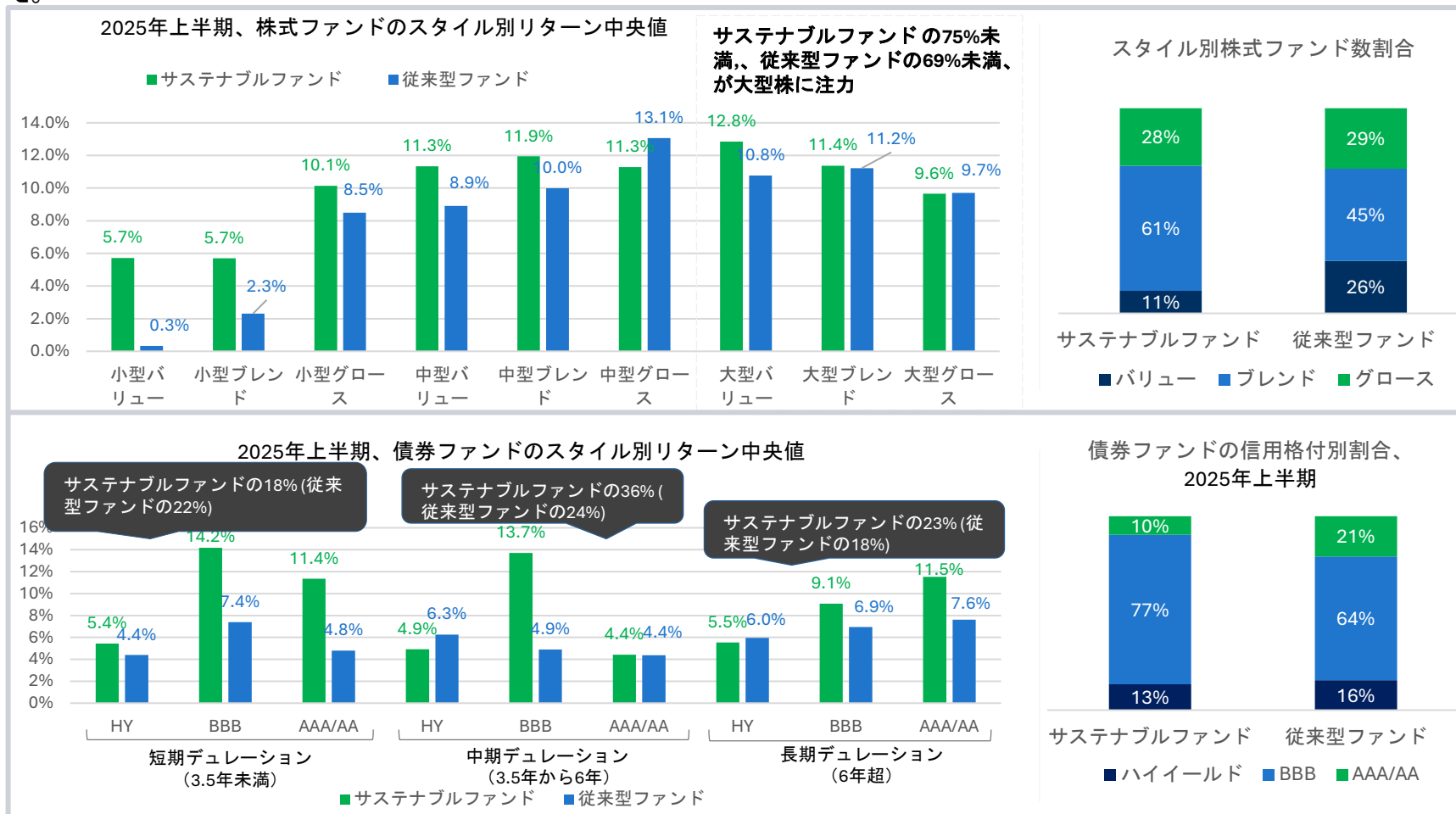
2025年1月～6月のリターン (%)



出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。

スタイル別の株式および債券のリターン

ファンドスタイルへの相対的なエクスポージャーは過去にサステナブルファンドのリターンに影響を与えたが、25年上期には大きな影響はなかった。

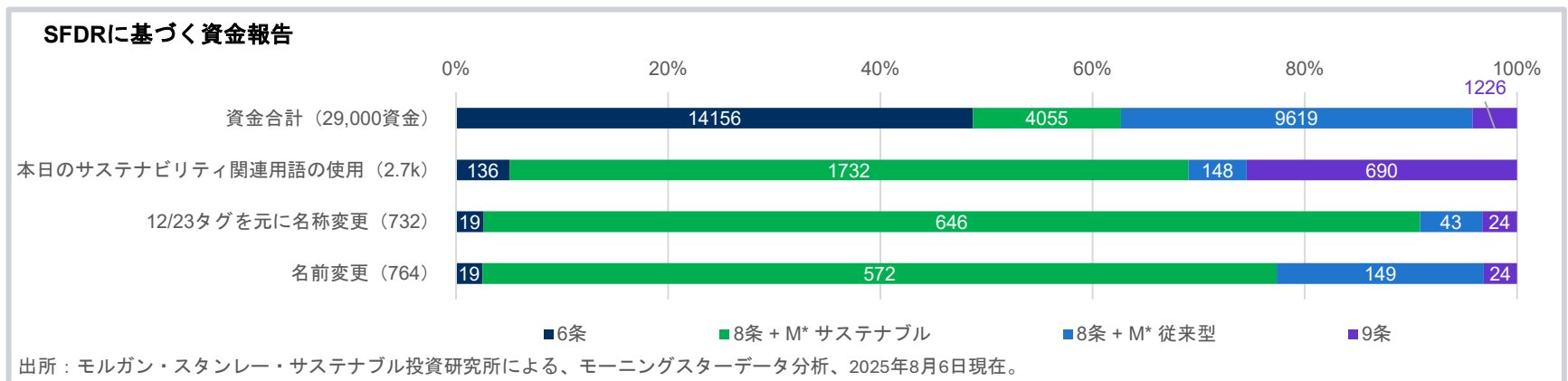


出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。モーニングスターは、ポートフォリオの平均クレジット投資判断によって債券ファンドを分類している。

地域別の焦点: 新しいESMAファンド名ガイドラインの影響

2024年5月、ESMA¹はファンド名におけるサステナビリティ用語に関するガイドラインを発表し、2025年5月までに「ESG」や「サステナブル」といった用語を使用する場合、特定の投資を除外することを求めた。

- 現在、SFDRの下で報告している2,700以上のファンドが名前にサステナビリティ関連の用語を使用しており、2025年2月の3,500未満から減少している。9条ファンドの半数以上がこれらの用語を使用しており、56%; 8条/サステナブル2ファンドの43%、8条/従来型ファンドのわずか2%; 6条ファンドの1%である。
- 2024年4月以降、764のファンドが名前を変更した。90%以上がサステナビリティ関連の用語を完全に削除し、いくつかは用語を変更した。
- 名前を変更したファンドのほとんどは8条ファンドであった。現在のモーニングスターの分類に基づく、572は8条/サステナブルであり、149は8条/従来型であったが、2023年12月の分類に基づく、これは646と43であった。他の変数、例えばファンドの立ち上げや閉鎖があるが、これは約100の8条ファンドが投資戦略を変更し、名前を変更した可能性があり、したがってモーニングスターによって再分類されたことを示唆している。



¹ 欧州証券市場監督局、最終ガイドラインを参照。ファンドは2025年5月までに準拠する必要があった。2 モーニングスターからのサステナブル/従来型の分類

ネガティブ・スクリーニング

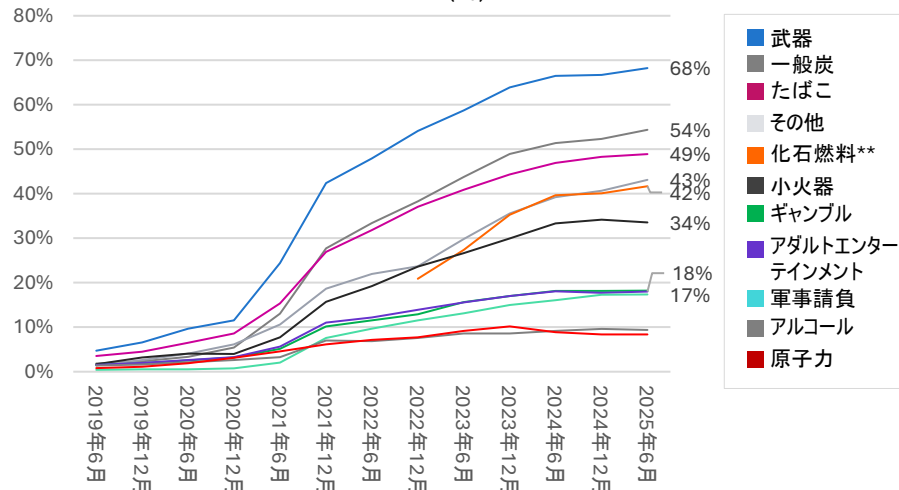
資金がネガティブ・スクリーニングをどのように使用しているかに関するモーニングスターのデータによると、ほとんどを除外対象とするAUMの割合は微増。武器、一般炭、タバコが最も一般的な除外対象である。

ネガティブスクリーニング、2025 年6月現在	グローバル AUM、 単位10億ドル	グローバル AUM の割合	欧州籍 AUM、 単位10億ドル	欧州籍 AUM の 割合 (%)	北米籍 AUM、 単位10億ドル	北米籍 AUM の割合 (%)	アジア籍 AUM、 単位10億ドル	アジア籍 AUM の割合 (%)
武器	13,047	19.1%	12,368	68.2%	391	1.0%	288	3.4%
一般炭	10,151	14.8%	9,854	54.4%	218	0.6%	79	0.9%
たばこ	9,562	14.0%	8,864	48.9%	382	1.0%	316	3.7%
その他*	8,284	12.1%	7,815	43.1%	315	0.8%	150	1.8%
化石燃料	7,858	11.5%	7,555	41.7%	234	0.6%	69	0.8%
小火器	6,532	9.5%	6,077	33.5%	307	0.8%	148	1.7%
ギャンブル	3,626	5.3%	3,302	18.2%	221	0.6%	99	1.2%
アダルトエンターテインメント	3,501	5.1%	3,263	18.0%	144	0.4%	94	1.1%
軍事請負	3,355	4.9%	3,147	17.4%	151	0.4%	58	0.7%
アルコール	2,001	2.9%	1,706	9.4%	215	0.5%	77	0.9%
原子力	1,652	2.4%	1,518	8.4%	102	0.3%	32	0.4%
パーム油	1,380	2.0%	1,343	7.4%	24	0.1%	12	0.1%
遺伝子組み換え生物	690	1.0%	671	3.7%	16	0.0%	3	0.0%
殺虫剤	570	0.8%	567	3.1%	4	0.0%	0	0.0%
動物実験	301	0.4%	244	1.3%	40	0.1%	17	0.2%
毛皮および特殊皮革	228	0.3%	224	1.2%	2	0.0%	1	0.0%
人工妊娠中絶	155	0.2%	90	0.5%	64	0.2%	2	0.0%

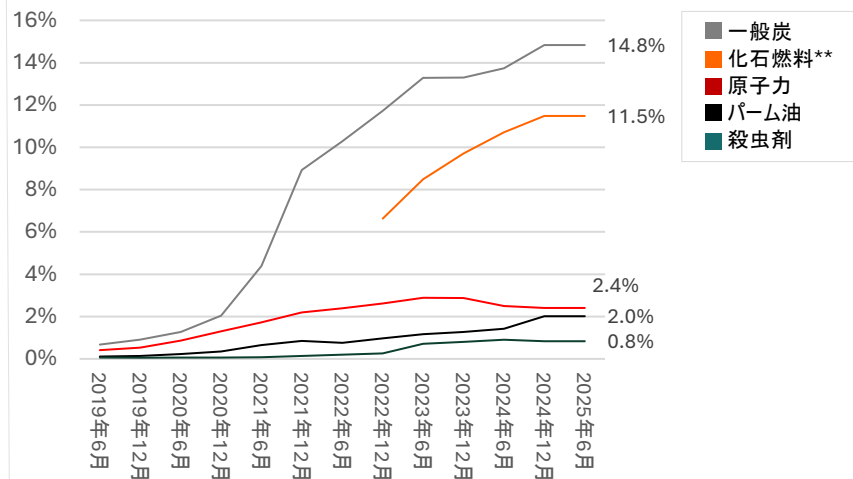
出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。その他*には、名前付きの除外に含まれない要因、例えば人権問題を抱える政府のある国での企業の活動が含まれる。

ネガティブスクリーニングの経年変化

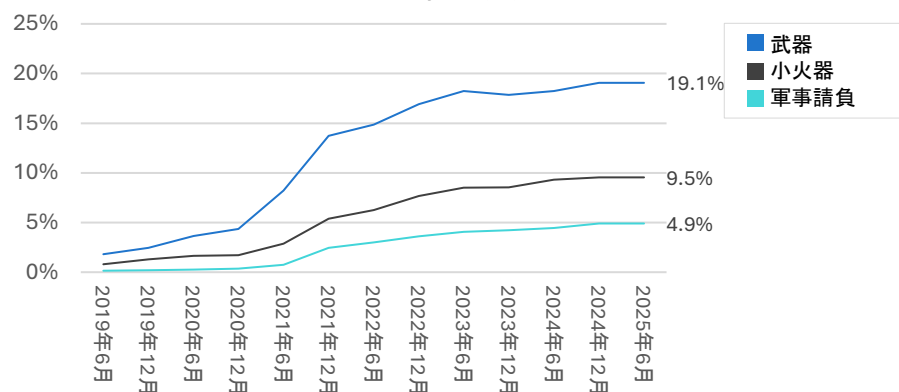
欧州ネガティブスクリーニング、欧州AUMに占める割合 (%)



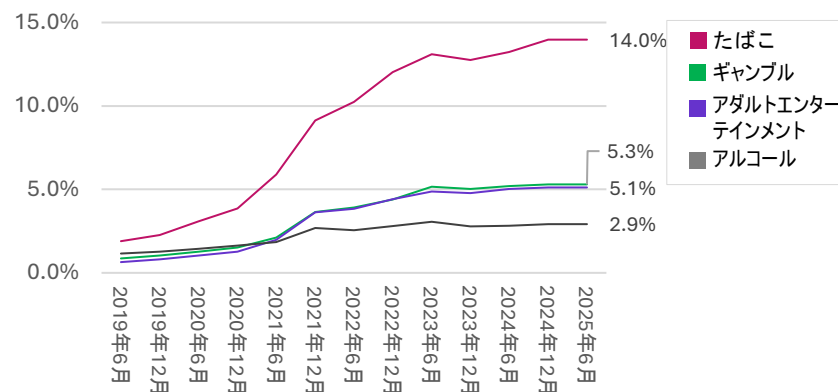
環境ネガティブスクリーニング、グローバルAUMに占める割合 (%)



防衛関連ネガティブスクリーニング、グローバルAUMに占める割合 (%)



バリューベースネガティブスクリーニング、グローバルAUMに占める割合 (%)



出所：モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所による、モーニングスターデータ分析、2025年8月6日現在。** 化石燃料は2022年12月から別カテゴリーとして導入された。

方法論

このレポートは、モルガン・スタンレー・サステナブル投資研究所の「サステナブル・リアリティ」シリーズの一部であり、特定の期間におけるサステナブルファンドと従来型ファンドの過去のパフォーマンスをモーニングスターのデータを用いて評価する。このレポートは、2025年1月1日から2025年6月30日までのパフォーマンスを分析する。

この分析のファンドユニバースには、クローズドエンドファンド、上場投資信託、オープンエンドファンドが含まれ、最古のシェアクラスを採用し、フィーダーファンド、ファンドオブファンズ、マネーマーケットファンドは除外される。合計で、この分析は世界中の約99,000のファンドを対象とした。この分析は、6月30日（上期版の場合）または12月31日（通年版の場合）時点での各ファンドのサステナビリティ分類を採用する。ファンドを含めるためのパラメータは変更されないが、最新の日付でのファンドの分類を採用することにより、各版でファンドのユニバースが変わる可能性がある。すべての過去のデータポイントは、現在の期間の分類に基づいて再表示される。

モーニングスターは、ファンドが「...目論見書やその他の規制申請書類で、サステナビリティ、インパクト投資、または環境、社会、ガバナンス(ESG)要因に焦点を当てていると説明されている場合、サステナビリティと分類する。ファンドはサステナビリティの目的を持ち、投資選択において拘束力のあるESG基準を使用することを主張しなければならない。限定的な除外のみを行うか、非拘束的な方法でESG要因を考慮するファンドは、サステナブル投資商品とは見なされない。」

サステナブルファンドは、モーニングスターによって「サステナブル」と分類されたものであり、これは新しいが依然として広範な欧州サステナブルファイナンス開示規則(SFDR)8条および9条の定義とは異なる場合がある。9条ファンドの99%以上がモーニングスターによってサステナブルと分類されているが、8条ファンドでは約30%にしか適用されない。従来型ファンドは、モーニングスターによって「サステナブルでない」と分類されたものである。

モーニングスターの総リターンの計算は、パーセンテージで表され、毎月の純資産価値の変化を取り、すべての収入とキャピタルゲイン分配をその月に再投資し、開始時の純資産価値(NAV)で割ることによって決定される。すべてのリターン数値は、以前のサステナブル・リアリティの反復と同様に、中央値リターンを指し、米ドルで表示される。

ファンドがモーニングスターにデータを報告する際に、特にアジアに本拠を置くファンドでは、数週間または数ヶ月の遅れが生じることがある。以前の期間の一部の数値は、最新の開示を反映するために修正される。これが以前の分析に重要である場合、その影響は本文で示される。以前の期間の数値も将来的に控えめな修正を受ける可能性がある。このレポートのデータは、2025年2月4日に収集された。サステナブル・リアリティの古い版では、ファンドの本拠地に基づく地域データを見てきた。2024年2月版と同様に、このレポートはこの内訳を保持し、ファンドの投資エリアに基づくデータを別途追加する。例えば、ファンドは欧州に本拠を置いているが、グローバル資産に投資することができる。

開示

この資料は2025年9月に発行され、情報提供のみを目的として準備されており、いかなる証券やその他の金融商品を売買するための勧誘や、いかなる取引戦略に参加するための勧誘でもない。この資料はモルガン・スタンレー・リサーチ部門によって準備されたものではなく、FINRA規則で定義されるリサーチレポートではない。この資料は個別に調整された投資アドバイスを提供するものではない。受け取った人の個々の財務状況や目標を考慮せずに準備されている。

Morgan Stanley Smith Barney LLCとMorgan Stanley & Co. LLC（総称して「モルガン・スタンレー」）、SIPCメンバーは、受取人が自身の投資、法務、税務、規制および会計のアドバイザーと相談の上、取引または戦略の経済的リスクとメリット、ならびに法務、税務、規制および会計の特性と結果を判断することを推奨する。特定の投資または戦略の適切性は、投資家の個々の状況と目標に依存する。モルガン・スタンレー、その関連会社、従業員およびモルガン・スタンレー・ファイナンシャル・アドバイザーは、税務、会計または法務のアドバイスを提供しない。個人は、税務および税務計画に関する事項については税務アドバイザーに、法務に関する事項については弁護士に相談するべきである。

過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスの保証や指標ではない。示された過去のデータは過去のパフォーマンスを表しており、将来の同等の結果を保証するものではない。ここに含まれる特定の声明は、1995年の民間証券訴訟改革法のセーフハーバー条項の意味における「将来の見通しに関する声明」である可能性がある。これらの声明は、歴史的事実や現在の状況の声明ではなく、経営陣の現在の期待に基づいており、不確実性や状況の変化の影響を受ける可能性がある。これらの声明は、将来の結果や出来事の保証ではなく、予測が難しく、しばしば弊社の管理を超える既知および未知のリスク、不確実性および仮定を含む。さらに、このレポートには仮定のシナリオや仮定に基づく声明が含まれており、これらは発生しないか、実際の出来事と大きく異なる可能性があり、これらの声明は必ずしも現在または実際のリスクや予想されるリスクの予測を代表するものとして見なされるべきではない。実際の結果および財務状況は、これらの声明に含まれるものと大きく異なる可能性がある。モルガン・スタンレーによってまたはその代理で行われた将来の見通しに関する声明は、作成された日付にのみ言及し、モルガン・スタンレーは、将来の見通しに関する声明が作成された後に発生する状況や出来事の影響を反映するために、将来の見通しに関する声明を更新する義務を負わない。その狭い焦点のため、セクター投資は、多くのセクターや企業に分散する投資よりも変動が大きくなる傾向がある。

特定のポートフォリオには、環境、社会、ガバナンス（「ESG」）投資と見なされる投資保有が含まれる場合がある。参考までに、環境（「E」）要因には、気候変動、汚染、廃棄物、発行者が自然資源を保護および/または保存する方法などが含まれるが、これらに限定されない。社会（「S」）要因には、発行者が従業員、株主、顧客、およびコミュニティとの関係を管理する方法などが含まれるが、これらに限定されない。ガバナンス（「G」）要因には、発行者の運営方法、リーダーシップの構成、報酬およびインセンティブ構造、内部統制、株式および債券保有者の権利などが含まれるが、これらに限定されない。投資商品の目論見書やその他の提供文書、開示および/またはマーケティング資料を注意深く確認し、ESG要因を投資戦略にどのように組み込んでいるかを学ぶべきである。

開示

ESG投資は、サステナブル投資、インパクトアウェア投資、社会的責任投資、または多様性、公平性、包括性(「DEI」)投資と呼ばれることもある。業界内には一貫性のないESGの定義と基準があり、同じ対象企業および/または証券のESG評価を提供する複数のESG評価プロバイダーが存在し、プロバイダー間で異なる。これは、現在の一貫したグローバルな報告および監査基準の欠如、ならびにESG評価プロバイダー間の定義、方法論、プロセス、データソース、および主観性の違いによるものである。投資の発行者の中には、別管理口座(SMA)、ミューチュアルファンド、上場投資信託(ETF)を含むがこれに限定されない、ESG基準に関する異なるおよび一貫性のない見解を持つものがあり、提供文書やその他の文献で行われたESGの主張がESGの影響を過大評価している場合がある。さらに、社会的責任の規範は地域によって異なり、発行者のESG慣行やモルガン・スタンレーの発行者のESG慣行の評価は時間とともに変化する可能性がある。

ESG投資と見なされる投資保有を含むポートフォリオや、全体的な戦略の一部としてESGスクリーニング基準を採用するポートフォリオは、そのような慣行を採用しないポートフォリオよりも低いまたは高いパフォーマンスを経験する可能性がある。ESG制限と戦略を持つポートフォリオおよびESG投資は、ESG基準が適用されないポートフォリオと同じ機会や市場動向を利用できない可能性がある。ESG投資戦略または採用される技術が成功するという保証はない。過去のパフォーマンスは、将来の結果の保証または信頼できる指標ではない。特定のファンドに関連するリスクについては、ファンドの目論見書または要約目論見書を参照すること。

投資マネージャーはESGに対する異なるアプローチを持ち、同じテーマまたはトピックに関して他の投資マネージャーが提供する戦略とは異なる戦略を提供することができる。さらに、投資を評価する際、投資マネージャーは不完全、不正確、または利用できない情報やデータに依存しており、これが投資のESG特性やパフォーマンスを誤って評価する原因となる可能性がある。そのようなデータや情報は、任意または第三者の報告を通じて取得される場合がある。モルガン・スタンレーは、そのような情報やデータが正確であることを確認せず、発行者を評価する際の正確性、適時性、または完全性についていかなる表明または保証も行わない。これにより、モルガン・スタンレーは発行者のESG慣行に関するビジネス慣行を誤って評価する可能性がある。その結果、ESG投資商品を比較することは難しい。

特定のESG投資や戦略の適切性は、投資家の個々の状況や目的に依存する。投資の元本価値とリターンは、市場状況の変化に伴って変動する。

この資料には、ウェブサイトのアドレスが記載されているか、ハイパーリンクが含まれている場合がある。Morgan Stanley Wealth Managementのウェブサイト資料に言及している場合を除き、弊社はリンク先のサイトを確認していない。同様に、Morgan Stanley Wealth Managementのウェブサイト資料に言及している場合を除き、弊社はそのデータや情報に関して一切の責任を負わず、何らの表明や保証も行わない。そのようなアドレスやハイパーリンク(Morgan Stanley Wealth Managementのウェブサイト資料へのアドレスやハイパーリンクを含む)は、あくまで便宜と情報提供のために提供されており、リンク先のサイトの内容は本書の一部を構成するものではない。そのようなウェブサイトアクセスすることや、資料または弊社のウェブサイトを通じてそのリンクをたどることは自己責任で行うものとし、弊社はそのような参照されたウェブサイト起因または関連して生じるいかなる責任も負わない。Morgan Stanley Wealth ManagementはMorgan Stanley Smith Barney LLCの事業である。

開示事項

信用格付けは、債券発行者の信用力、すなわち債券保有者に対する利息と元本の適時返済能力を測る指標である。示されている信用格付けは、Standard & Poor's、Moody'sおよび/またはFitchが提供する各ファンドの証券格付けに基づいている。信用格付けはファンドの基礎証券に対して格付け機関によって発行されるものであり、ファンド自体のものではなく、ファンド内の証券の信用品質はファンドの安定性や安全性を示すものではない。示されている信用格付けは、S&PおよびFitchの分類に基づき、最高のAAAから最低のDまでの範囲である(Moody'sによるAaaおよびCに相当)。S&PおよびFitchによるBBB以上(Moody'sによるBaa以上)の格付けは、投資適格品質の証券と見なされる。2つ以上の機関が異なる格付けを証券に付与している場合、最も高い格付けが適用される。3つの機関すべてによって格付けされていない証券は「NR」としてリストされる。信用格付けは変更される可能性がある。

© 2025 Morgan Stanley & Co. LLCおよびMorgan Stanley Smith Barney LLC。SIPCメンバー。全著作権所有。

CRC 4760099 09/2025